

指標 2.2.3

指標名、ターゲット及びゴール

指標 2.2.3 15～49 歳の女性における貧血の蔓延度（妊娠状況別、%）

ターゲット 2.2 5 歳未満の子供の発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを 2025 年までに達成するなど、2030 年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。

ゴール 2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

定義及び根拠

○ 定義

血中ヘモグロビン濃度（血色素量）が 12.0mg/dL 未満となっている 20～49 歳の女性の割合

○ 概念

貧血：血中ヘモグロビン濃度が、確立された基準値を下回る状態のこと。血液、脳、筋肉の正常な生理機能を維持するのに不十分な鉄欠乏状態のこと。（ICD-11,5B5K.0 鉄欠乏）

鉄欠乏性貧血：（ICD-11,3A00, 鉄欠乏性貧血）

血中ヘモグロビン濃度：全血中のヘモグロビンの濃度のこと。

○ 根拠及び解釈

妊婦の鉄欠乏性貧血は、早産、低出生体重児及び発育障害につながる可能性のある乳児の鉄貯蔵量の減少などの有害な生殖結果に関連している。鉄欠乏は貧血の最も一般的な原因と考えられているが、その他の栄養的及び非栄養的原因もある。貧血は、血中ヘモグロビンを測定することで評価可能である。また、鉄貯蔵に関するその他の指標と組み合わせて使用すれば、血中ヘモグロビンは鉄欠乏の重症度に関する情報を提供することができる。貧血蔓延度（有病率）は、この問題の公衆衛生上の深刻さを分類するために使用される。

データソース及び収集方法

国民健康・栄養調査を基に算出。

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

- ・ 国民生活基礎調査において設定された単位区から層化無作為抽出した単位区に対して行った国民健康・栄養調査を元に算出している。
- ・ 国民健康・栄養調査の性・年齢階級別の血中ヘモグロビン濃度（SLS-Hb 法により測定）の分布を用いて、20-49 歳女性の血色素量 12.0 mg/dL 未満の人数を算出し、当該人数を 20-49 歳女性の総人数で除して算出している。

※ 国民健康・栄養調査の概要（目的・対象・項目等）は上記 URL に掲示した報告書を参照。

○ コメントと限界

- ・ 国民健康・栄養調査の対象者のうち、血中ヘモグロビン濃度の測定を行った 20～49 歳の女性の検査結果を用いており、対象者数は、調査年度によって変動する。
- ・ 国民健康・栄養調査は、対象者数が限定されていることに留意が必要。
- ・ 対象者からは、貧血治療のための薬の使用者を除外していない。
- ・ 妊娠状況別の集計を行っていない。
- ・ 高度（海拔）、喫煙による調整は行っていない。

データの詳細集計

10 歳刻みの年齢階級別

参考

厚生労働省：国民健康・栄養調査

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html

データ提供府省

厚生労働省

関連政策府省

こども家庭庁

厚生労働省

担当国際機関

世界保健機関（WHO）